

韓国農林畜産食品部プレスリリース 2019年11月28日付

以下、機械翻訳などによる仮訳

京畿道坡州市郡内面のイノシシ弊死体から ASF ウイルス検出
(野生いのしし 30 例目)

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbnWFmcmElMkY2OCUyRjMyMjE1MiUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNlJTI2cmdzRW5kZGVtdHIIM0QIMjZwYWdlJTNEMSUyNmJic09wZW5XcmRTZXEIM0QIMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnNyY2hXcmQIM0QIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4IM0QIMjZyb3clM0QxMCUyNg%3D%3D>

【本文】

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は 11 月 28 日、京畿道 (キョンギド) 坡州 (パジュ) 市郡内面 (クンネミョン) 民間制限線内で発見された 3 体の野生いのしし弊死体から ASF ウイルスが検出されたと明らかにした。

○今回検出された野生いのしし弊死体は感染・危険地域を遮断している 2 次フェンス内で官軍合同弊死体捜索* 過程で発見された。

*試料採取・埋却処理後、作業者は消毒、周辺防疫作業実施

○国立環境科学院は 11 月 27 日 ASF ウイルス陽性の確定診断を関係機関に通知した。これで ASF 陽性事例は坡州 (パジュ) で 9 件となり、全国的には 30 件に増えた。

□国立環境科学院生物安全研究チーム長は“11 月 29 日まで坡州 (パジュ)・漣川 (ヨンチョン)・鉄原 (チョルウォン) 地域 2 次フェンスの中で官軍合同捜索が進行していて今後陽性個体検出件数はもっと増えるかもしれない”と話した。

(以上)